

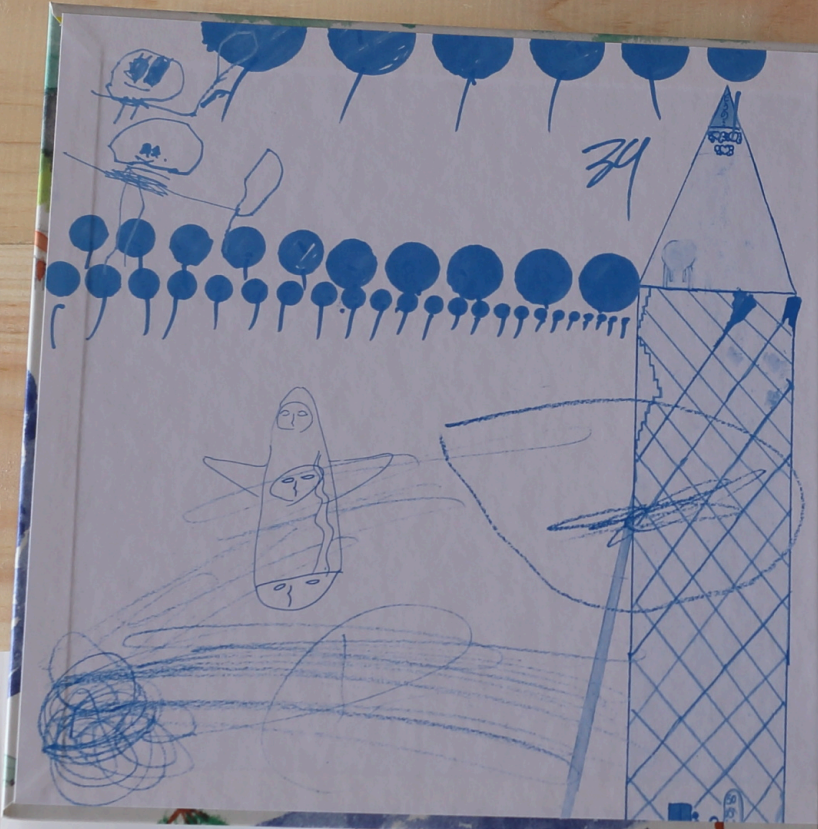


塔とってことないよ

いたる所に塔は立ってる、街にも、砂漠にも、海の中にも、
そしてきみの心の中にも、ありが塔が。

谷川俊平





2018年この荒川区の汐入でワールドカップ
かいさいけしてい!



塔ってこないよ

蓮沼昌宏 編

荒川区 発行

あっ!






やあ みつかった

おや こんにちは





ほくらは^{ほくら}塔の木

塔^{ほくら}があったところに うまれる木だよ





ここには いろいろな塔があった

そう みはらしい木のうえの塔とかね





もくそうのしおいりタワー

あいつは
しぶかったね





ゆうひの塔

あれは なんともいえなかったね



よるの塔

ほしがとなりにきたね





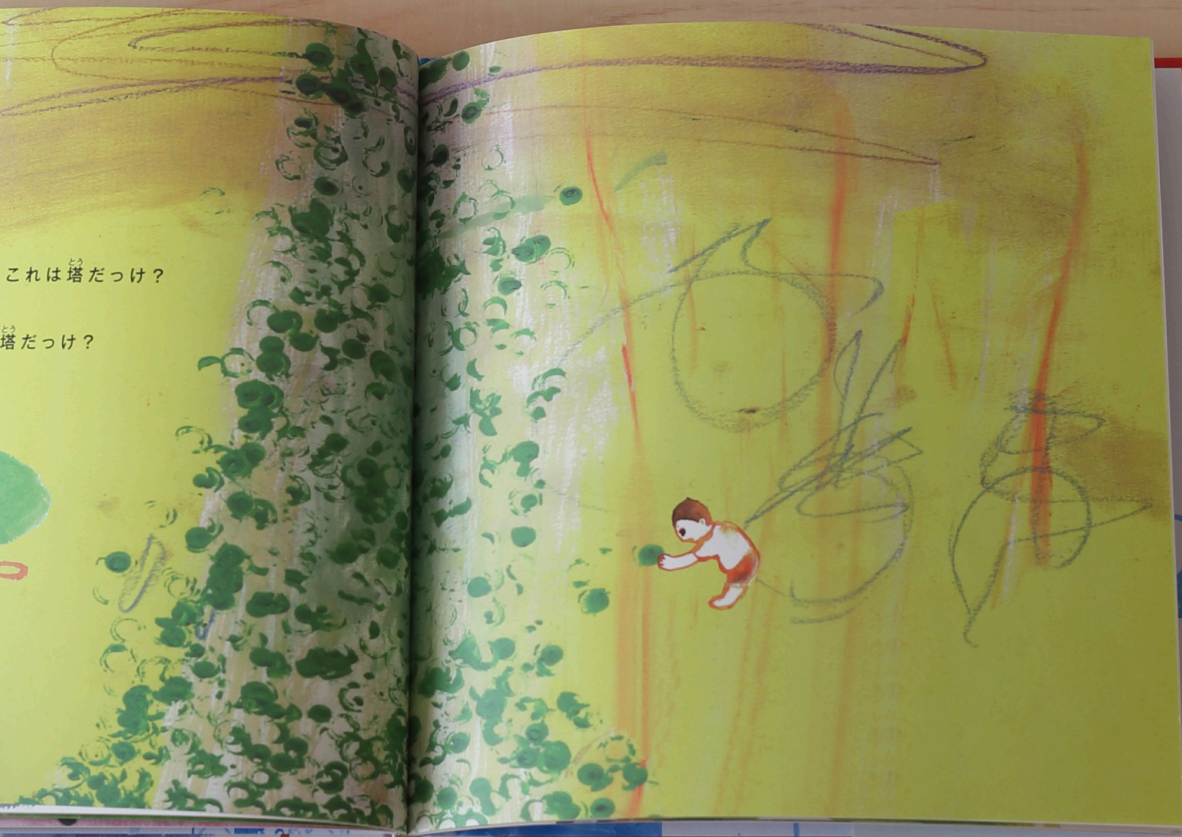
はなびの塔^と

うーん かくべつだったね



おや これは塔だっけ？

あれ 塔だっけ？





ざいりょうのたりない塔^{とう}

どうしようか こまったね



わけてくれた とうきょうタワー

たすかったね ありがとう



びゅーびゅーびゅー すごいあらし!



でも 塔たってことなかったね



どどーん かいじゅうぶつかった!



ま ^た 塔ってことないけどね



いろいろな塔があった

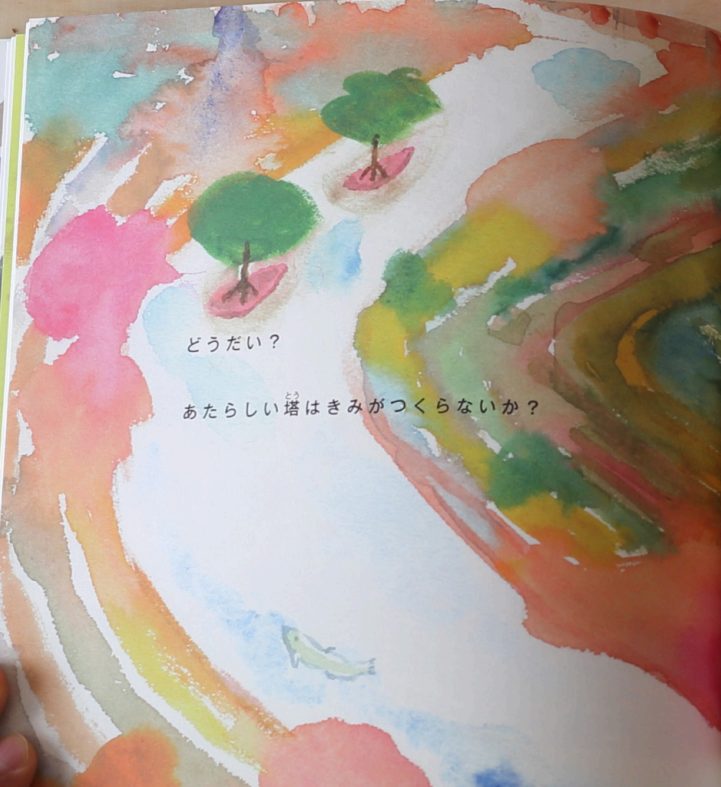
いろいろあったね
でも いまはないんだ





塔はない

だから塔の木がうまれた
そしてきみがきた

A watercolor illustration of a landscape. A central white area represents a river or a path, with a small blue fish swimming in it. On either side, there are colorful washes of pink, orange, and yellow. Two green trees with dark trunks stand on small pinkish-red patches. The overall style is soft and painterly.

どうだい？

あたらしい塔はきみがつくらないか？





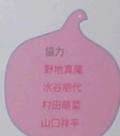
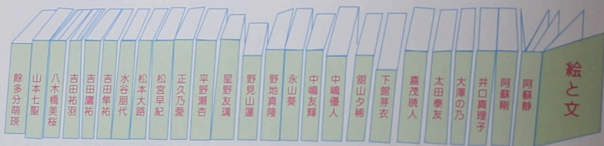
たのしみだね

またね

塔ってこないよ

平成25年3月発行 登録(24)0089

逢沼昌宏 (はすま まさひろ) 画家。1981年東京都生まれ。2010年東京芸術大学美術解剖学博士号取得。[川俣正・東京インプロレス・藤田からの戦い] ワークショップ企画制作者。主な作品に「繪とのワールドワーク」[横浜、一列になった] などがある。 <http://hasunumamasahiro.blogspot.jp>



絵本刊行によせて

美術家川俣正先生の推進するプロジェクトとして、地元の方々の御協力により「汐入タワー」が誕生しました。先生は、ドイツのエッセンではルール川、フランスのアヴィニオンではローヌ川のほとりにも同様のタワーを建設されており、東京では、隅田川の流れる荒川区の都立汐入公園をタワーの建設地として選ばれました。

タワーの建設に当たって開催されたワークショップでは、地元の小学校の子どもたちが、これからできる塔を想像し、豊かな感性を発揮して素晴らしい絵を描きました。子どもたちの描いた作品が絵本という形で皆さんにお見せできることとなり、地元荒川区の区長として心からうれしく思っています。

今回の発刊に当たり、汐入タワーの建設に携わった皆様、そして絵本の刊行を心待ちにしてくださいました谷川俊太郎先生に心から感謝いたします。

平成25年3月 特別区長会会長・荒川区長 西川太一郎





何れもこのことを知らず、マラドーナがバレーボールの
スーパープレーヤーがドイツに徳田の
試合を観てくれたのだ。その試合で、列の
はなれた。



日本サッカー
ガンバル!
ニッポン
~~~~~



